

研修報告書No. 4

所 属：県外大学病院研修医

研修先：佐川町立高北国民健康保険病院

仁淀川町国民健康保険大崎診療所

研修医 2 年目の 1 ヶ月間、高知県の佐川町にある佐川町立国保高北病院、仁淀川町にある仁淀川町国保大崎診療所に地域医療として研修させていただいた。

おそらくは医師の過疎化、偏在化が問題視されているであろう地方における地域医療とは、こういったものなのか研修前から非常に興味深かったため、有意義な 1 ヶ月間であった。

1 ヶ月間の内、3 週間は高北病院での研修であった。高北病院では外来患者、入院患者の診察や治療を行っており、その地域にいる患者に対して医療を提供していた。しかし、驚いたことは、病院にデイケアサービス、特別養護老人ホームが併設されており、高北病院の医師、看護師などの医療従事者が病院に併設されている施設に赴き、医療を提供することがあるということである。また、在宅医療も積極的に行っており、医師による患者宅への訪問診療、看護師による訪問看護を提供しており、さらには高北病院から離れた診療所に週に一度診療している。これらの医療サービスを一貫して高北病院の職員が行っており地域、特に高齢者に対しては質の高い医療を提供していると実感した。

仁淀川町にある大崎診療所では 1 週間ほど研修させていただいた。大崎診療所は常勤の医師が一人おり、外来診療を行っている。夜間の救急の診療も行っているが、夜間に来る患者の数は多くはないようだ。大崎診療所の夜間の救急患者としては、高齢者の便秘による腹痛など、大きな医療施設での医療を必要としない患者が来院し治療を受け帰宅する。逆に緊急性が高い重症患者はそのまま医療センターへ搬送される。つまり、限りある医療資源をその患者の重症度によって適切に医療を提供できていると感じた。

また大崎診療所では高北病院のように、在宅患者や施設への訪問診療、さらには訪問リハビリなど行っており、見学もさせていただいた。これらは高北病院同様に、大崎診療所の医師や看護師、理学療法士を含む職員が実際に医療サービスを提供していた。

1 ヶ月を通して私が研修した 2 施設に共通していることは医療、介護、福祉が密に連携が取れており、高い質の医療サービスを提供しているという点だ。地域医療とは病院での医療サービスだけではなく、医療、介護、福祉の 3 つがバランス良く組み合わさって地域に還元されるものなのだというのを再認識した。高北病院も大崎診療所もこれらのバランスが非常にうまくとれており、理想的な地域医療であると考えた。さらに、限りある医療資源を適切に分配することも継続的な地域医療を提供するのに大事な点であると考えた。